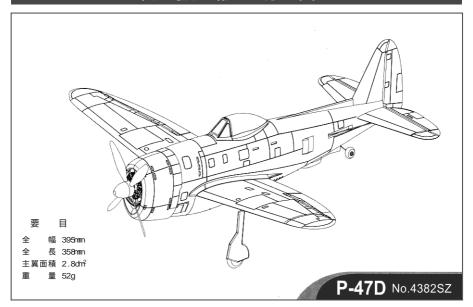
SkyZone

MICRO PARK FLYER
マイクロ　パークフライヤー

取　扱　説　明　書

保証について

ご購入時における製品について材質上又は製造上の不良品がある場合は無料で交換致します。ただし使用されたり、改造されたものに付いてはこの保証の対象になりません。保証は製品そのものだけに限り、それ以外の点にまで拡大した適用は致しません。　また保証は製品のご購入価格を限度と致します。製品の使用をはじめられたら、使用者は、最終完成品が起因となる事故に付いて、その補償責任は使用者自身が受け入れられるものとします。この補償責任を受け入れる考えを持たれない場合は、この製品を新品で未使用の状態で購入先へ返品してください。販売店および販売代理店は使用をされた製品についての返品を受け入れることはできません。

お知らせ

この製品を購入されたら以下の点にご注意ください。
・この製品の組立、飛行には成人の監督が必要です。
・この製品には小さいそして鋭くとがった部品が含まれていますので子供さんや経験のない初心者はこの製品を一人だけで操作しないでください。
・この説明書をよく読みすべての部品が完全で破損していないかチェックしてください。
・もしわからないことが起きたら販売代理店（サンダータイガー・ジャパン）とご相談ください。

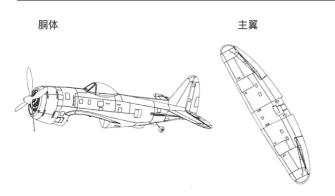
はじめに

この度はスカイゾーン マイクロパークフライヤーをご購入いただきありがとうございます。この製品はオール一体型の受信機ボード、リンケージ、効率の良いプロペラ付の強力なコアレスモーターが搭載済みのコンパクトサイズで設定が簡単なレディートゥフライ（RTF）マイクロ パークフライヤーです。これはRC飛行のホビーを志すRCモデラーにとって安価で便利なもっともポピュラーなRC飛行機です。
すべての設定の順序を理解することと推奨する機器構成についての全容を知るために、最初の飛行をはじめられる前にこの説明書の説明をおしまいまで良く読んでください。この説明書にある機体の構成部品が不足していないか破損していないかチェックしてください。もし不足したり破損した部品がありましたら販売代理店までお知らせください。
この説明書の説明に適切に従っていただければ、スカイゾーン マイクロフライヤーの飛行を十分楽しんで頂けるものと信じます。

目次

標準付属の機器

胴体

主翼

リチウムポリマーバッテリー
3.7V-120mAh

2.4ギガ
送信機

製品以外に必要な機器

単3アルカリ乾電池
4本

P-47Dの構成

❶ 垂直尾翼

❷ エルロン

❸ 水平尾翼

❹ エレベーター

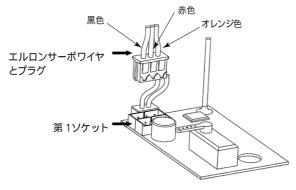
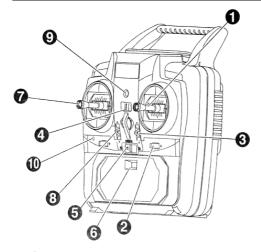
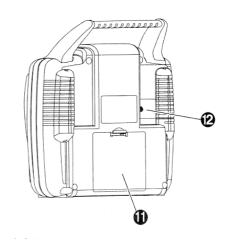
❺ エレベーター プッシュロッ

❻ プロペラ

❼ 主翼

❽ ホーン

エルロンサーボの接続

エルロンサーボワイヤのコネクターはユーザーが受信機ボードのソケットに接続しなければなりません。
ソケットとプラグの方向を間違えないよう注意して下の図のように第1ソケットに取り付けてください。
ソケットは胴体の奥の方にあるのでプラグの接続にはラジオペンチかピンセットを使用するとやり易いでしょう。

送信機の機能

❶ 右スティック

▲▼ スロットル コントロール
(プロペラ回転速度)

◀｜▶ エルロンコントロール

❷ トリム　エルロントリム (機体の飛行方向維持)

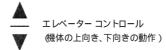
❸ トリム　スロットル トリム
(スティック最低位置でモーター停止)

❹ モードスイッチ (このスイッチは動かさないでください)

❺ 電源スイッチ　(送信機の電源 入る/切る)

❻ リバースとデュアルレート

❼ 左スティック

▲▼ エレベーター コントロール
(機体の上向き、下向きの動作)

◀｜▶ 動作機能はありません

❽ トリム　エレベーター トリム (機体の水平方向維持)

❾ バッテリー電圧表示灯

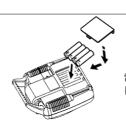
❿ 充電表示灯

⓫ バッテリーカバー

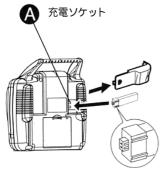
⓬ 充電端子カバー

バッテリー

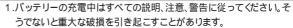
送信機バッテリー

バッテリーカバーを取り外す

単3乾電池を4個装着

電池の極性 (+ / -) に注意

リポバッテリーの充電

ステップ 1 Ⓐ 3.7V 120mAhのリポバッテリーをソケットに差し込みます。コネクターの方向に注意してください。

ステップ 2 Ⓑ 充電が始まると充電表示LEDが点灯します。満充電まで約40分かかります。(この時間は送信機の単3電池の状態により変わります。)

ステップ 3 Ⓑ 充電表示LEDが点滅をし始めたら充電は完了です。リポバッテリーを取り外してください。

1.バッテリーの充電中はすべての説明、注意、警告に従ってください。そうでないと重大な破損を引き起こすことがあります。
2.バッテリーの充電中は、送信機を燃えやすいものから遠ざけて耐火性のある場所においてください。
3.飛行前に電圧計を使ってバッテリーが満充電されていることを確認してください。バッテリーが充電不足の場合は飛行させないでください。
4.飛行中にリポバッテリーは熱くなります。再充電する場合ははバッテリーの温度が下がってから行ってください。
5.送信機のバッテリーがなくなっているとリポバッテリーの充電はできません。
6.送信機の電源がONまたはOFFでもリポバッテリーは充電できます。
7.リポバッテリーが膨らんできたり正常に働くなったら破棄してください。

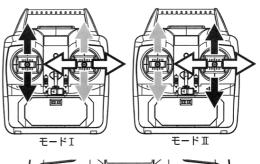
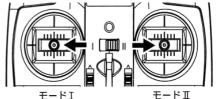
送信機の構成

モード切替スイッチ

我が国で使用されている送信機のスティックモードはほとんどモードⅠです。同梱の送信機の初期設定はモードⅠですのでこのスイッチは変更しないでください。

各モードのスティック機能

ステップ 1 モード切替スイッチを動かす前に左右のスティックを中心位置に動かしてください。

ステップ 2 モード切替スイッチが一番端まで動いているか確認してください。スロットルスティックのスプリングは働かなくなります。

電源スイッチ ON

ステップ 1　スロットルスティックを一番下にします。

ステップ 2　電源スイッチをONにします。

ステップ 3　赤色のLEDが点灯します。

赤色のLEDが連続点灯。
送信機のバッテリー状態
は良好です。

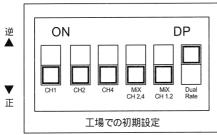
赤色LEDが点滅し
アラームがなる。
バッテリーの状態は
不良です。

常にまず送信機の電源スイッチをON
次にリポバッテリーを接続します。

プロペラが回転すると非常に危険です。
送信機の電源スイッチを入れる前に
スロットルスティックは常に一番下に
してください。

リバースとデュアルレートスイッチ

工場での初期設定

CH1 エルロン　CH2 エレベーター
CH4とM IXはこの飛行機では使いません

リバースとデュアルレートスイッチは送信機下方の四角い穴の中にあります。左側の2個はサーボの動作方向の変更するためのものです。
この製品の場合、工場で設定されていますので動かさないでください。
左から3、4、5番目のスイッチは機能していません。
右端のスイッチはデュアルレートスイッチです。初期設定は左の図の通りです。このスイッチを下側にするとエレベーターとエルロンの動作角度が大きくなり操縦がしにくくなります。初心者の場合はこのスイッチを動かさないでください。

バインディング　バインディングは工場出荷前に処理済です。もし飛行機が操作できない場合のみ次の方法でバインディングを行ってください。

ステップ 1　左側のコントロールスティックの先端を右図のように押しながら送信機の電源スイッチをONにします。送信機のLEDが点滅をはじめピー、ピーと音が聞こえます。これは送信機のバインディングの準備ができた合図です。

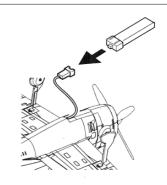
左側の
スティック

次のページへ

ステップ 2

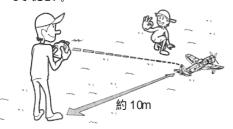
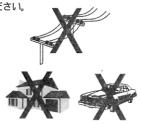
飛行機にリポバッテリーを接続します。赤色のLEDが点灯し2回ビープ音が聞こえます。これで受信機側のバインディング準備ができたしるしです。バインディングがでるとまた2回ビープ音が聞こえます。これで受信機のバインディングに成功です。

ステップ 3

受信機と送信機の電源を切ります。2〜3秒待って送信機と受信機側の電源を入れます。RC装置が正常に働くかチェックしてください。もしだめな場合はもう一度ステップ1からやり直してください。

飛行前のチェック

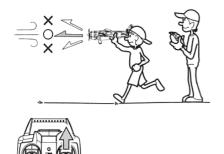
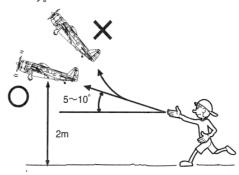
1.次のすべてのチェックしてください。
 a)各舵が正常か
 b)各部品は正しく取り付けられているか
 c)主翼の上半角
 d)水平尾翼は垂直尾翼に対し直角になっているか
 e)プロペラは正しく取り付けられているか

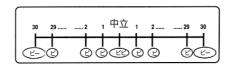
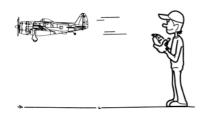
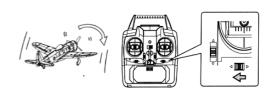
2正規の周波数のRC装置を使用。同じ飛行場に同じ周波数のRC装置が使用されていないか

3飛行機の舵が正しく動作するか操作距離テストを行ってください。飛行機から約10m離れた位置まで下がり他のRC装置と干渉なく動作するかチェックしてください。

4飛行させるに十分な空間があるか確認してください。車や建物や送電線の近く、飛び込んだら飛行機が壊れてしまうような場所では絶対に飛行させないでください。

5離陸や着陸の時は風の方向を確認してください。無風もしくは風速1〜2mの穏やかな天候が飛行に最適です。

飛行

出発（離陸）

1 機体を水平に保持しフルスロットルにしたら真っすぐ前に押し出すように風に向かって機体を出発させます。

2.出発したらエルロンスティックで機体が右または左に傾かないようバランスをとり、フルスロットルで機体が 5〜10°の角度で上昇するようエレベーターを操作します。高度が 10mに達したら旋回をはじめます。

トリムの調整

1.各トリムの位置はビープ音で示されます。
ニュートラル（中立）でピピと 2回連続音がでます。
1から 29までの位置ではピツと 1回づつ、両端ではピーと音が出ます。

2 送信機のスティックから手を離しても飛行機が真っすぐ水平に飛行するようエレベーターとエルロンのトリムを操作して調整します。

3 送信機のスティックから手を離しても飛行機が下の図のように右に向くようであればエルロントリムを左に調整します。

4 送信機のスティックから手を離しても飛行機が下の図のように頭を上げるようであればエレベータートリムを上に調整します。

トリム操作の方向

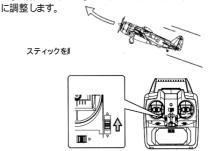
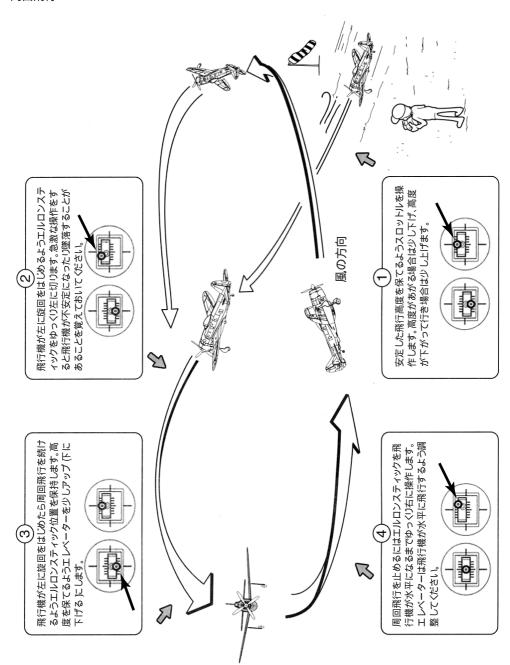
周回飛行

① 安定した飛行高度を保てるようスロットルを操作します。高度があがる場合は少し下げ、高度が下がって行き場合は少し上げます。

② 飛行機が左に旋回をはじめるようエルロンスティックをゆっくり左に切ります。急激な操作をすると飛行機が不安定になったり墜落することがあることを覚えておいてください。

③ 飛行機が左に旋回をはじめたら周回飛行を続けるようエルロンスティック位置を保持します。高度を保てるようエレベーターを少しアップ (下に下げる)にします。

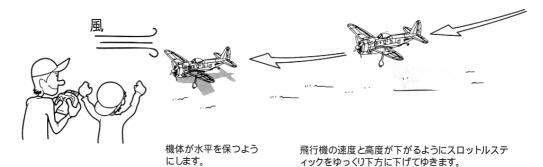
④ 周回飛行を止めるにはエルロンスティックを飛行機が水平になるまでゆっくり右に操作します。エレベーターは飛行機が水平に飛行するよう調整してください。

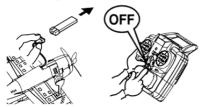
風の方向

着陸

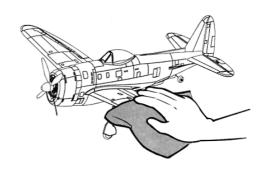
地面に近付いたらスムースな着陸のために機体が水平飛行をするようエレベータースティックを操作してください。

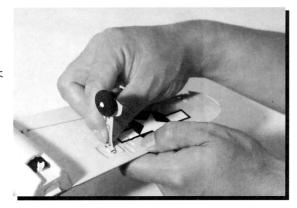
飛行機を風に正対させ機体が右または左に傾かないようエルロンスティックで調整してください。

機体が水平を保つようにします。

飛行機の速度と高度が下がるようにスロットルスティックをゆっくり下方に下げてゆきます。

飛行後のメンテナンス

1.リポバッテリーを取外し、次に送信機のスイッチを切ります。

2 飛行機全体を点検してください。
送信機のトリムが中立になるようプッシュロッドの曲げ部をちぢめらり伸ばしたりして機械的なトリムをしてください。

3 機体を傷めますから清掃にはいかなる洗浄剤も使わないでください。機体の外側の汚れをとるにはきれいな布を使ってください。

追加説明

01 右の写真のように主脚を取り付けてください。ワイヤをマウントの後方から差し込み一杯奥まで押し込んでください。
注意 主脚の左右を間違えないよう、主翼はそっと保持してください。
同じ方法で反対側の主脚を取り付けてください。

02 尾輪を取り出し胴体後部の取付場所にワイヤを差し込んでください。車輪が胴体と平行になるよう調整してください。

03 エルロンサーボワイヤを説明書(2ページ)に従って取り付けてください。次にバッテリーのワイヤを主翼上面前方の丸穴から主翼下面の穴に通します。主翼を胴体に取付ます。胴体のマグネットが主翼をきっちり保持できるよう主翼後方の腹の部分を胴体にそっと押し付けてください。
主翼の取外しは主翼上面の胴体に近い部分をそっと押し下げてください。ただし主翼の後縁付近は非常に薄いので押さないでください。